

レベル	経年数	到達目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
レベルⅠ	1 ～ 2年目	病院および看護部の理念・方針を理解し、職業人としての自覚を持つ。組織の一員として、管理的視点を理解し助言を受けて行動できる	中央オリエンテーション	クリニカルラダーについて(新卒者)											
		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践できる		院外研修会への参加					看護理論・看護過程(2年目以上)	ケーススタディ1G GW	ケーススタディ2G GW	ケーススタディ1G GW	ケーススタディ2G GW		
		チームメンバーの一員であることを自覚し、助言を受けて協働できる					チーム医療とメンバーシップ								
		自己の特性と課題を認識し、助言を受けて学習できる					新人フォロー-1				看護とはなにか『日々の患者との関わりから』説明 新人フォロー-2		レポート提出	新人フォロー-3 1年間の振り返り	
レベルⅡ	3 ～ 4年目	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践できる。		院外研修会への参加											
		チームメンバーの役割を認識し、リーダーと協力し、自ら行動できる 管理的視点を意識し行動できる。					「チームリーダーとチームメンバーの役割」								
		部署目標達成に向けて、自己の課題を明らかにし目標達成に向けた行動ができる。		プリセプター研修会 1			プリセプター研修会 2				プリセプター研修会 3			プリセプター研修会 1 (次年度プリセプター対象)	プリセプター研修会 4 (一年間の振り返り)
		自己の課題を認識し、自主的に学習できる								キャリアデザイン					
レベルⅢ	5 ～ 6年目	チームにおける日々のリーダー業務を理解し、協力を得て実践できる 管理的視点を基に行動できる。								リーダー業務研修会「多重課題への対応優先順位の考え方」					
		部署目標の達成に向けて、組織の課題を明確にし目標達成に向けて行動できる。													
		患者との関わりから自己の看護観を深めることができる						看護観のまとめ方説明会							
		自己のキャリアを展望し、専門領域に関する学習に取り組むことができる													
		ケアの受け手にあう個別的な看護を実践できる													
レベルⅣ	7 ～ 10年目	部署目標の達成に向けて、管理的視点を持ち指導的に関わることができる 管理的視点を基に問題解決に取り組むことができる									看護管理の基本的な考え方 (1)	看護管理の基本的な考え方 (2)	看護管理の基本的な考え方 (3)		
		自己を客観視し、リーダーシップを発揮し状況判断を適切に行い問題解決できる					リーダーシップセミナー ※外部研修を検討	リーダーシップセミナー ※外部研修を検討							
		幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践できる													
		研究的視点を持ち、看護実践力を深めることができる									末日 計画書提出				
		専門領域に関して知識を深めて、スタッフを指導できる								臨床指導者研修(伝達講習)※	臨床指導者研修(伝達講習)※	臨床指導者研修(伝達講習)※	※時期変更可能性あり	※	
レベルⅤ	11年目	より複雑な状況においてケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する。 指導者層の教育・育成計画を企画実行できる 専門領域における看護実践の役割モデルとなり、指導者を育成できる													
		組織横断的にリーダーシップを発揮し、業務改善や他部門との連携・調整・協働ができる 組織運営管理の視点を持ち問題を明確にし、業務改善に取り組むことができる										看護管理セミナー	看護管理セミナー	看護管理セミナー	
		社会の動向を理解し病院組織の目標達成に向けて組織変革を創造し、主体的に取り組むことができる												社会の動向と医療経済・看護経済セミナー	社会の動向と医療経済・看護経済セミナー
マネジメント	I ～ IV	看護管理者として「組織管理」「質管理」「人材育成」「危機管理」「政策立案」「想像力」の6つの能力が習得でき地域まで 視野を広げた看護管理が実践できる													
		動画視聴研修を予定													
全看護職員		・統一した看護を提供できる ・安全で安心できる看護を提供できる ・他部署・他部門と情報交換でき、連携協働力を高める。				クリニカルラダーについて(既卒者)	クリニカルラダーについて(既卒者)	看護補助者活用推進伝達講習会	災害看護研修会	患者の診かたNo.1 急変時対応①	患者の診かたNo.2 急変時対応②	患者の診かたNo.3 急変時対応③		心電図の読み方	
		新入職者記録研修													
		新入職者安全研修													
		新入職者感染研修													
		新入職者褥瘡研修													
介看護福祉助士者		・病院の機能と、チーム医療における看護補助者としての役割を理解できる。 ・職業倫理に基づき、安全管理についての理解を深めることができる。 ・看護師の指示を受けて、患者のニーズに応じた生活の援助を行い、快適な入院生活が送れるよう整える事ができる。	新入職者中央オリエンテーション(病院の機能役割接遇)			職業倫理と安全管理(守秘義務・医療安全・感染管理) 2回/月	チーム医療における看護補助者の役割 2回/月	看護補助業務における基礎的知識と技術「接遇とコミュニケーション技術」 2回/月	基本的な日常生活の援助(1)療養環境の整備	基本的な日常生活の援助(2)食事の援助	基本的な日常生活の援助(3)排泄の援助 トイレ誘導～オムツ交換	基本的な日常生活の援助(4)トランスファー介助	看護補助業務における基礎的知識と技術 認知症		